

令和元年10月15日(火)

いわきは心を一つに

今回の台風19号による惨状は、言葉では言い尽くせません。生徒たちの家(特に小川から平窪、赤井地区、谷川瀬地区)の床上浸水や冠水による町全体の惨状は言葉に言い尽くすことのできない傷を負うことになってしまいました。生徒たちも心を痛めながら、友人の家や教員の家の手伝ったり、友人のために自分の家に同居することを申し出、大会への参加を模索したりなど前を向こうとする姿に頭が下がる思いです。

学校は、幸いにも、雨漏れ数か所ぐらいで済みました。西グラウンドは、2メートルの水をかぶり、サッカー部、ラグビー部、ソフトボール部の部室等はめっちゃめっちゃになりました。この3連休は、部員たちは集まって、片付けやごみの処理など一生懸命に復旧に当たったところです。

周囲から出る災害ごみにより、グラウンドの駐車場に入れなくなってしまったこともありました。町の人々も懸命に復旧に当たっているのです、ごみをどけてくださいとはいえず、こんな状況なので、行政の方々も忙しいことは承知しておりますが、何とかこの状況をご覧いただき、生徒たちが今全国を目指して練習していることもご理解いただき、ごみの処理方法を解決していきたいと思っておりますので何卒ご協力をお願いいたします。(野球も何とか頑張っております。)

